

令和7年度学校運営協議会（第3回）議事録

校長	府立泉北高等支援学校
校長名	阪本 友輝

開催日時	令和8年1月29日（木）13:30~15:00
開催場所	大阪府立泉北高等支援学校 応接室
出席者（委員）	中島 康明（会長） 前田 光一（副会長） 徳 和則（委員） 魚住 敦子（委員） *大西 一央（委員） 樋上 一真（委員）は欠席。
出席者（学校）	阪本 友輝（校長） 米田 拓朗（教頭） 前田 映三子（首席） 篠原 祐（部主事） 上野 浩嗣（教務主任） 木村 晋也（進路指導部主事） *宮園 菜穂美（事務長）、緒方 美香（研究支援部長・指導教諭）は欠席
傍聴者	なし
協議資料	委員会名簿 次第 学校運営協議会実施要項 令和7年度 学校教育自己診断票集計結果（教職員用・保護者用・生徒用） 令和7年度 学校教育自己診断の結果と分析 校内WG研修「性暴力等の防止」チェック項目 令和7年度学校経営計画及び学校評価 令和8年度 学校経営計画及び学校評価
備考	意見箱への投書なし

議題等
<p>(1) 諸連絡（配付物の確認、次第の確認、傍聴者の確認、意見箱について）</p> <p>(2) 学校長挨拶</p> <p>(3) 学校運営協議会副会長挨拶</p> <p>(4) 校内巡視</p> <p>(5) 今年度の学校教育自己診断結果と校内ワーキングの報告について</p> <p>(6) 今年度の学校経営計画の総括と今後の課題について</p> <p>(7) 令和8年度の学校経営計画について</p> <p>(8) 質疑応答・意見交換</p> <p>(9) 会長まとめ</p> <p>(10) 次年度の学校運営協議会予定について</p>
協議内容・承認事項（説明・意見の概要）
<p>(1) 諸連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配付物の確認 ※協議資料参考 ・次第の確認 ・傍聴者の確認→ 傍聴者なし

・意見箱について→投書なし

(2) 学校長挨拶

(3) 学校運営協議会副会長挨拶

(4) 校内巡視

学校経営推進費で調理室を喫茶室にしたもの、作品展をご覧いただく。作品に対してお褒めの言葉をいただく。

(5) 今年度の学校教育自己診断結果と校内ワーキングの報告について

学校教育自己診断結果

画面等資料をご覧いただきながら説明を行った。

フォームでの回答で、回答率が下がった。

生徒：交流の機会に課題があること。肯定的評価が低かった。今後は事前の綿密な打ち合わせが必要。

保護者：項目15・13が高評価であること。

いじめ対応について「わからない」の回答数が多いことから周知が不足していると考えられる。

教員：初任者育成に課題がある。

進路指導の ojt が課題。

校内人事、分担：肯定 61.1%。教職員の働き方の多様化により分担が不十分。クラウドなどの ICT 環境を活用して負担軽減することが課題。

校内ワーキングの報告

HP ブログをご覧いただき、ご報告した。

報告についての意見・質問

・クラウドサービスの具体について

→フォームでの回答を今年度推進。フォームを活用することで集計作業が軽減。データを全員で同時に作成、編集、共有できる。PC 端末を持ち運びすることができるようになり、ペーパーレスになったことで会議の議事録や共有がスムーズになった。

・情報の技術についていけないデジタル難民への支援が課題

・教員の業務役割分担の悩みは上神谷支援学校についても同様

・レモンが柱として定着してきており、レモンを目標に全体が進んでいける方向性が見えてきたことが実感した。

・WEB 回答にすると保護者の回答率が減るといのはどういうことか？

→紙であれば、手元にもものが残るので失念が少ないという意見をいただいている。

・地域でもラインを活用しているが、ラインだと失念する人がいる。前日に再度ラインをすることで思い出してくださる。そのような対応も必要になる。

・WEB 回答にすると、他校でも保護者が忘れてしまうという感覚がある。

・大学においては、少子化で学校の PR に尽力が求められている。支援教育はニーズが高い。

支援教育の専門性についての認知がすすんできている。

(6) 今年度の学校経営計画の総括と今後の課題について

評価 41 項目内 △12、○ ◎ 肯定的評価 29 項目

- ・一定達成できている。
- ・達成できなかった項目については、取組み自体は行ったが、学校教育自己診断の評価パーセンテージが目標値に届かなかったもの。回答率が低かったことが影響したかと考えられる。

(7) 令和 8 年度の学校経営計画について

- ・形式を大きく変更し、キャッチコピーをつけて、見てすぐ内容がわかる表記とした。
- ・内容については R 7 年度を踏襲している。
- ・本年度の取組み内容については、職員会議で教職員に投げかけ、教職員から意見・キャッチコピーを集め、学校全体で経営計画を作成した。
- ・ボトムアップをして、教職員全員が経営計画の作成に参画できるようにした。
- ・1～4 の項目に分けて記載。働き方改革の部分が増えた。レモンの項目を 1～3 にちりばめた。
- ・担当部署を明記し、どこが・だれが推進しているのかを分かるようにした。
- ・ICT を活用することについて新たに記載した。
- ・時間外勤務 7 2 0 時間を超える教員を失くすという目標で、大阪府下全校で記載することになっている。

(8) 質疑応答・意見交換

- ・キャッチコピーは素晴らしい。教員がこの学校経営計画を見る際にとってもわかりやすい。つまり子どもたちに反映されやすい計画になっている。
- ・計画を変えるのであれば、保護者への診断を求める聞き方も変わってくるのか？例えば「キャッチコピーをしているか？」など
- ・安心安全の回答について（保護者）の学校の具体的な取組みについて、保護者の意見をとりいれて、学校経営計画に反映させてはどうか。学校教育自己診断で課題となっていることなど。
- ・働き方改革 720 時間を失くしたい。（＝月 60 時間）とあるが、多く残業している教員がいるのか。
→本校ではないが、部活動のある高等学校では超えてしまう教員がいる。
- ・年休 5 日の取得状況はどうか。休暇取得するということは、先の計画を共有することである。教職員同士がお互いに計画を立てながら休暇をとることができたら理想。
→学校休業は夏季休業中と年末年始にとっている。そこで 5 日間の特別休暇を取得できるようにしている。
- ・現在の学校経営計画の作成や目標達成にむけての期間設定などはどうか
→現在は 3 年後に「こうなっている」という考え方になっている。
生徒と学校経営計画を共有できるような形に近づいてきている印象を受けた。
- ・生成 A I はどの種類を活用予定か。
→コパイロット。（教職員）生徒にはジェミニを。
- ・「信頼される学校づくり」の項目について、出身中学校とも連携をお願いしたい。
- ・防災 DAY について、対策本部の緊張感あふれる訓練で大変よかった。体育館での遊びの要素を取

り入れた学習内容、防災クッキングも大変よかった。

(9) 会長まとめ

(10) 次年度の学校運営協議会予定について